

中央区のプロフィール～中央区ってどんなところ？

札幌市

位置

石狩平野の南西部に位置し、市街地が發展してきた豊平川扇状地を中心に、東は石狩川から野幌原始林にかけての低地帯、西は手稲山系、南は支笏洞爺国立公園に連なる一大山地、北は日本海に接する石狩砂丘地に囲まれています。札幌市役所本庁舎の位置は、東経 141°21'29"、北緯 43°03'35"。これは、ロシアのウラジオストク、中国の長春、フランスのマルセイユ、イタリアのローマとほぼ同じ緯度に当たります。

広さ

大正 11 年 8 月 1 日の市制施行以来、9 回にわたって市域を拡大し、現在 1,121.26 km²の面積を有しています。

気象

夏季は爽やかで、冬季は積雪寒冷が特徴である日本海型気候。鮮明な四季の移り変わりが見られます。

中央区



中央区シンボルマーク
(昭和50年4月制定)

緑色の曲線は緑に囲まれた理想ある街と区民の和を示し、だいたい色の十字形は基盤の目状の街並みと四方に發展した札幌市の起点、さらに若い街の活力を表現しています。白色は清潔な街を表現しています。

位置

札幌市の中心部に位置し、北区と東区とはJR函館本線で、白石区と豊平区とは豊平川で、南区と西区とは南西部山地の稜線で接しています。

広さ

面積は 46.42 km²で、その形は東西に長く、東西 15.3 km、南北 9.8 km に及んでいます。

特徴

明治の初め以来、札幌の中心として計画的なまちづくりが進められてきたこともあり、基盤の目状に整然と区画された街路が大きな特徴となっています。

現在、大通や駅前通に面して官庁や企業の近代的なビルが立ち並び、札幌の都市機能の中核となっています。その一方で、歴史的な建築物が多く残されているのも特徴です。

歴史

札幌開拓の歴史は、中央区の歴史でもあります。明治2年に開拓使が設置され、島義勇判官が札幌本府の建設に着手。その志を受け継いだ岩村通俊判官の手により、明治4年から本格的なまちづくりが始まりました。

市街地は、渡島通(現在の南1条通)と大友掘(現在の創成川)を基点に、1町(約109m)四方に区切り、東西南北に走る11間(約20m)道路が設けられました。また、街の中心には東西に幅およそ105mの火防線(現在の大通公園)を設け、北側を官地、南側を民地としました。

現在

島判官らのまちづくりに対する思いは、今も受け継がれています。近年では、札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)や創成川公園を整備し、中央区のシンボルの一つである路面電車のループ化も実現しました。今後も、都心部の再開発をはじめ、魅力あふれるまちづくりが着々と進められていきます。

中央区マスコットキャラクター「中ウオークン」



「中ウオークン」は、令和4年に区制50周年を記念し、公募により誕生。中央区の象徴である市電を親しみやすくキャラクター化しました。パンタグラフは、中央区の「中」を表したぜんまいねじに置き換え、区民とともに一步一步元気に前進する姿を表現しています。

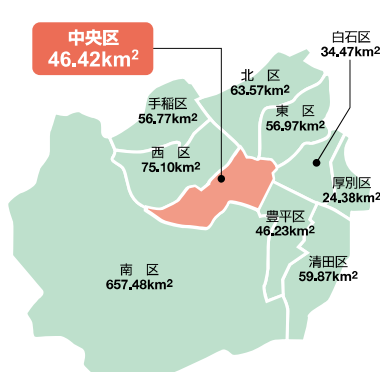
各区の人口と世帯数、面積

●各区の人口と世帯数

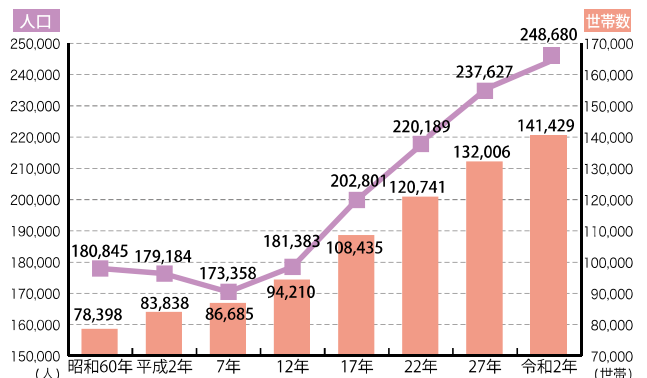
区	人口(人)	世帯数(世帯)
全市	1,973,566	987,372
中央区	252,575	146,327
北区	289,418	141,802
東区	264,792	132,919
白石区	211,242	110,065
厚別区	123,581	57,897
豊平区	226,350	121,510
清田区	111,145	46,075
南区	134,771	62,693
西区	217,552	105,953
手稲区	142,140	62,131

(令和4年9月1日現在)国勢調査ベース

●各区の面積



中央区の人口と世帯数の推移



(各年10月1日現在)国勢調査